

# 平成 26 年度（2014 年度）事業報告

## 本財団で行っている事業及び研究

医師等に対する精神分析及精神分析療法に関する研修事業として、通年セミナー8件うちワークショップ1件、単発セミナー5件（うち新規1件）、研究事業1件、出版事業1件を実施しました。

## I. 研修事業

### 1. 通年セミナー

#### (1) 小寺精神分析研究セミナー（第20期）

テーマ：「マイ・メンター」

目的：日本語でいえば、メンターは、精神分析における我が師といっても良いのだが、恩師、我が師、という言葉はやや硬い。ここでは、ご自分の精神分析理論や実践に影響を及ぼし、個人的な接触があった人物をいうので、フロイトのような歴史的存在のことではない。その人にとってメンターはスーパーバイザーかもしれない、訓練分析家かもしれない。あるいはそうでないかもしれない。メンターと生徒は、互いへの尊敬の念、気の合う感じ、あえていえば昇華したあまえを経験しているかもしれない。各講師には、そのメンターから何を学び、どんな違いを経験し、自分の精神分析をどのように展開しようとしたか、などについてお話しいただく。

対象：精神分析の指導者および臨床家の養成のため、精神分析セミナー、精神分析的な心理臨床セミナーの受講生、卒業生及びこの基準に準じた臨床家の方。

開催期間：平成26年(2014年)5月～平成27年(2015年)3月、月1回

第3土曜日原則、午後6時30分～9時、全10回

開催場所：津田ホール101・1102会議室

参加人数：73名

運営方法：原則毎回講師1名、指定討論者1名をお願いし司会は適宜狩野力八郎が担当。

担当：狩野力八郎

日時	講師	テーマ	討論者
5月17日	丸田俊彦	マイ・インターサブジェクティビティ	森 さち子
6月21日	松木邦裕	精神分析における師弟関係と私	中村留貴子
7月19日	衣笠隆幸	私が出会った人々	高野 晶
9月20日	相田信男	マイ・メンターをめぐる、あなたに訊きたい	権 成鉉
10月18日	鈴木智美	精神分析を体験すること	生地 新
11月15日	福本 修	海外での多種多様な研修機会の中で	小川豊昭
12月20日	藤山直樹	メンターとは何だろうか	白波瀬丈一郎
1月17日	北山 修	「抱える環境」とその喪失	奥寺 崇
2月21日	古賀靖彦	マイ・メンターズ	菊地孝則
3月28日	岡野憲一郎	メンターの父性性と母性性	深津千賀子 岡田暁宜

## (2) 体験グループセミナー (第20期)

目的：精神分析、力動的力動的精神療法の方向付けを基本とした、グループダイナミクスの学習、自己理解の深化を、ワークショップ形式のグループ体験を通して得る機会の提供を目的とする。

対象：精神分析セミナー、精神分析的精神分析的心理臨床セミナー、ならびにそれに相当するセミナーの受講者、修了者ですすでに精神療法の経験をもつことを原則とする。原則として2年目の参加者優先

講師：鈴木純一・相田信男

開催期間：平成26年(2014年)5月～平成27年(2015年)3月、月1回

第4金曜日原則、午後7時～8時30分、全10回

場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加人数：22名

担当：相田信男

## (3) グループ理論研究セミナー (第19期)

目的：精神分析、力動的力動的医学を基礎におく集団精神療法の臨床家または指導者の養成を理論的学習、事例をめぐるスーパービジョンを通して達成することを目的とする。

対象：何らかの臨床グループあるいはトレーニング・グループなど、実際グループに参加した経験のある方、あるいは参加の方で、事例提供が可能な方を優先とする。

講師：鈴木純一・相田信男

開催期間：平成26年(2014年)5月～平成27年(2015年)3月、月1回

第2土曜日、午後2時～5時 全10回

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加人数：37名

担当：相田信男

## (4) 力動的家族療法セミナー (第12期)

対象：個人精神療法に関する何らかの研修(セミナーあるいはスーパービジョンなど)を受けているか、受けたことのある方。大学院生も受講可。

講師：中村伸一・福山和女・野末武義・岩井昌也

司会：狩野力八郎(適宜参加)

開催期間：平成26年(2014年)6月～平成27年(2015年)3月、月1回

第4土曜日、午後2時～5時 全10回

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加人数：17名

担当：狩野力八郎

## (5) 小寺臨床講読セミナー

—現代クライン派の系統的理解(第Ⅲ期)：2. クラインからクライン派へ—

目的：メラニー・クラインは、現代の精神分析の重要な源泉の一つであり、優れた直観と観察に基づいて多くの独創的な見解を展開しました。本年度は、『分裂機制についての覚書』(1946)以降のクラインの原著と、同時代に展開されていった発達論、そしてクライン派による精神病や投影同一化についての研究を取り上げます。邦訳のある文献も多く含めて、初学者の方が参加しやすいようにしました。

対 象：テキストを読んで毎回参加できる方。年に何回かレジュメ作成・発表を担当。

講 師：福本 修・平井正三

開催期間：平成 26 年（2014 年）4 月以降の第 2 金曜、午後 7 時～10、全 12 回

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加人数：23 名

担 当：福本 修

#### (6) 小寺臨床講読ワークショップ

ーフロイトの系統的理解（第Ⅲ期）：3.新たな分析的諸見地（1920－1939）ー

目 的：本ワークショップは、参加時間の中でフロイト読解を体験して、精神分析の〈現場〉へと赴くことを目指しています。2014 年度は、1920 年以降の後期のフロイトの展開を取り上げます。集団力動の理解・改訂された欲動論・超自我 - 自我 - エスの内的構造論・トラウマの問題など、現代の精神分析に直結している論文を中心に、そこに含まれている興味深い概念を取り上げます。同時に、臨場感ある現代論文を参照します。その多くには邦訳があり、初学者の方も参加しやすいようにしました。経験ある方が、再度勉強する機会にもなります。

対 象：テキストを読んで毎回参加できる方。臨床経験の多寡は問題ではない。

講 師：福本 修（余裕があれば時にゲスト講師）

開催期間：平成 26 年（2014 年）4 月以降の第三金曜、午後 7 時～10 時、全 1 2 回

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加人数：21 名

担 当：福本 修

#### (7) 精神分析的心理療法セミナー（第 5 回）

目 的：精神分析的な心理療法についての事例検討と研究を目的とする。原則として、ある程度の臨床経験と、個人スーパービジョンを中心とする研修経験をすでに持っており、事例報告ができる臨床心理士を対象とする。精神分析学会認定資格の取得を目指すことが望ましい。また、年に数回、外部からの講師もお迎えして助言をお願いする。事例をめぐる活発な討論を行うので、積極的に意見を述べる、経験豊かな臨床心理士の参加を歓迎する。

対 象：精神分析の基礎講義を修了し、個人スーパービジョンの経験を持つ臨床心理士

講 師：中村留貴子、深津千賀子、松木邦裕、藤山直樹

開催期間：平成 26 年（2014 年）4 月～平成 27 年（2015 年）3 月

原則として、第一金曜日、午後 7 時 30 分～10 時、全 10 回

1/11 日曜日に特別なセッションを設けた

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム及び小会議室

参加人数：9 名

担 当：中村留貴子・狩野力八郎

#### (8) 「臨床家のための、産業メンタルヘルス・セミナー」(第 3 回)

開催日時：毎月原則として第 4 日曜日 13:00～17:30 全 10 回

開催場所：慶応義塾大学ストレス研究センター

参加対象：臨床心理士

講 師：白波瀬丈一郎、乾 吉佑、辻廣享子、松山公一、森 晃彌、三柴丈典、秋山義之  
三浦有紀

参加人数：12名

担 当：白波瀬丈一郎

## 2. 単発セミナー

### (1) 第28回精神療法セミナー

目 的：自己心理学に基礎づけられた精神療法について講義と症例検討を用い教育する。比較的小規模で濃密な討論を目標とする。

開催日時：平成27年（2015年）3月21日（祝・土）

講 師：福本 修・森さち子・松本智子・貞安 元

開催場所：津田ホール101・102会議室

参加人数：34名

担 当：福本 修

### (2) 精神分析—医学生・研修医セミナー

目 的：医学生を中心に、精神分析の世界を概観する機会を提供し、その魅力を伝え、さらに精神的臨床家との交流を通して、精神分析の世界への関心を高めること。

開催日時：平成26年（2014年）7月20日（日）・21日（祝・月）

開催場所：小寺記念精神分析研究財団 セミナールーム

講 師：狩野力八郎・菊地孝則・北山修・白波瀬丈一郎・高野晶・藤山直樹他

参加対象：医学生（5年生、6年生を中心に）、および研修医（初期研修医を中心に）

参加人数：19名

内 容：レクチャーおよび分析家オフィス見学ツアー

担 当：菊地孝則・高野 晶

### (3) 関係精神療法セミナー『夢の構成機能—フォサーギ先生をお迎えして』（第4回）

開催日時：平成26年（2014年）5月6日（祝・火）午前10時～午後3時

開催場所：ホテルJALシティ四谷

参加対象：精神分析に興味があり、臨床実践を行っている方

発 表 者：フォサーギ先生

富樫 公一（甲南大学）

吾妻 壮 （大阪大学精神科）

岡野憲一郎（国際医療福祉大学）

司 会：岡野憲一郎

参加人数：31名

担 当：岡野憲一郎

### (4) 『破壊的な少年の病理理解と介入をめぐる現代的議論』（第4回）

—クライン派はクライン派的解釈を行うべきなのだろうか？

開催日時：平成26年（2014年）12月23日（祝・火）午後1時～5時

開催場所：津田ホール101・102会議室

参加対象：精神分析に興味があり、臨床実践を行っている方（臨床経験の多寡は問いません）

講 師：西村理晃（タビストック・クリニック）、平井正三（御池心理療法センター）

司 会：木部則雄、福本 修

討 論：小倉 清、木部則雄

参加人数：68名

担 当：福本 修

(5) バーナード・ロバーツ先生講演（新規）

『身体的毀損とともに成長すること』—自殺傾向の思春期男子の精神分析で直面した問題

開催日時：2014年4月5日（土）午後7時～9時15分

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加対象：精神分析に関心があり、臨床を行っている方（経験の多寡は問いません）

講 師：バーナード・ロバーツ先生（英国精神分析協会）

司会通訳：福本 修

指定討論：木部則雄

参加人数：28名

担 当：福本修

## II. 研究事業

精神分析学研究

目 的：精神分析療法および精神分析的な精神療法における治療機序を明らかにする。

開催日時：平成26年(2014年)4月～平成27年(2015年)3月、月1回、

土曜日午前9時～午後5時

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加人数：10名

研究概要：精神分析療法および精神分析的な精神療法のプロセスを詳細に分析し変化のプロセスとメカニズムを解明する。そのため、構造化された精神分析療法および精神分析的な精神療法の症例を用い、ひとつひとつのセッションを複数の研究者から詳細に解析し、検討する。

担 当：狩野力八郎

## III 出版事業

小寺セミナーなどにおける講義を本財団として出版する案について討議する。

26年度はホームページの作成

担 当：福本 修